

留学準備で覚えておきたいことがよくわかるよくわかる

ニュージーランド高校留学：実現までのプランニングガイド

編纂：ニュージーランド高校留学専門エージェントARC

～留学計画・4つのポイント～



次のページから、A～Dの順で説明します。

A：計画を立てる

①ニュージーランドの教育制度を把握する

～ニュージーランドと日本の学年対応表～

日 本		小学校						中学校			高校			大学・短大
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	専門学校など
満年齢	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18歳～
N Z	Year													大学(NZ全国に国立大学8校) ポリテクニク 専門学校など
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
	Primary School(小学校)						Junior High School(中学)		High School(高校)					
							Intermediate and Secondary School (中高一貫校)							
							Intermediate (中学校)		Secondary School(高校)					
	Full Primary School (小中一貫校)													

～スクールターム～

ニュージーランドは4学期制で、1学期は10～11週間です。以下は2026年のスケジュールです。

ターム	日付
ターム 1	1月30日～4月2日
ターム 2	4月20日～7月3日
ターム 3	7月20日～9月25日
ターム 4	10月12日～11月下旬

入学に際して、授業に付いていく英語力が不足していると判断した場合、まずは語学学校でみっちり基礎力を付けることをお勧めします。高校進学を目的に英語を学ぶコースは『高校準備コース』と呼ばれ、10代の学生だけで構成されています。高校に通うためには、日常会話が可能な『Intermediate (中級)』レベルまで英語力を向上させる必要があります。目安は**英検2級**と言われています。語学学校での履修は通常、3ヶ月～1年間です。

②学費目安

NZ\$は値動きのある通貨のため、1ドル90～100円計算で見積もるといいでしょう。	1ターム留学	1年留学	3年留学
単位取得	不可	可能	可能
履修科目	学校指定または 選択教科	選択教科	選択教科
一般的な渡航時期	ターム1, 2, 3	ターム1, 2, 3	ターム1, 2
学費	NZ\$4,500.00	NZ\$18,000.00	NZ\$54,000.00
ホームステイ代	NZ\$3,800.00	NZ\$17,000.00	NZ\$54,000.00
諸手続き代	NZ\$2,000.00	NZ\$3,000.00	NZ\$10,000.00
合計	NZ\$10,300.00	NZ\$38,000.00	NZ\$120,000.00
日本円概算 (90円計算)	¥ 927,000	¥ 3,420,000	¥ 10,800,000

A：計画を立てる

③サンプルプラン

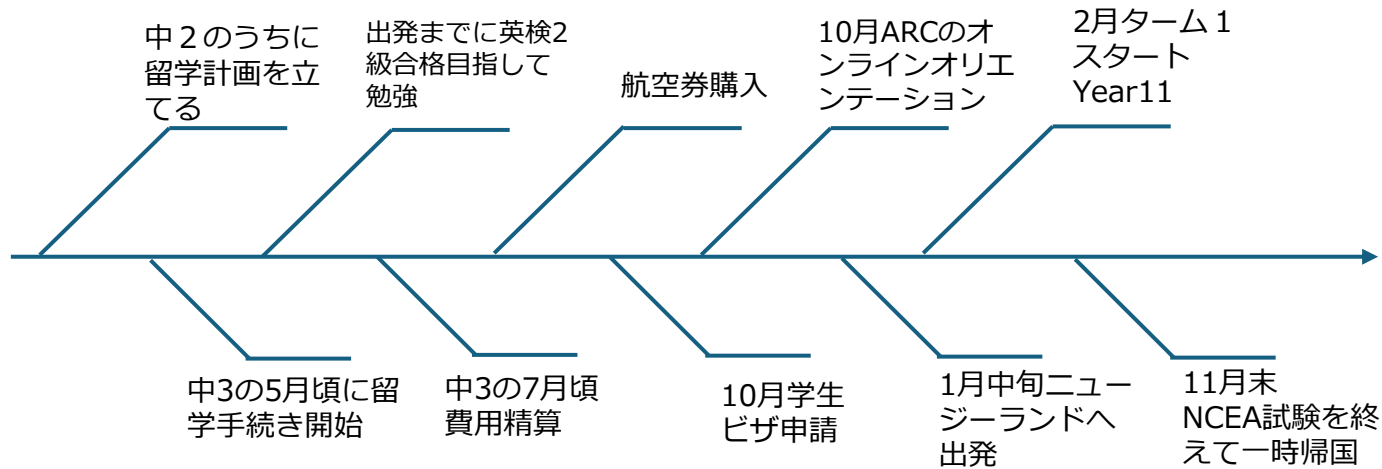
「卒業」という定義について： NCEA合格＝卒業 ではない。

日本では、高校の「卒業」は、3年間の就学期間中に「学校規定の全課程を修了すること」を指します。一方でニュージーランドの場合、この定義をそのまま当てはめると、「NCEA Level 1、Level 2、Level 3の全試験に合格すること」を意味します。

ただし、留学生の場合、これらの試験すべてをクリアするのは必須ではなく、多くのケースでは「**高校で3年間の就学期間を満了すること**」が卒業とみなされます。たとえば、日本で1年間高校に通い、その後ニュージーランドで2年間通った場合でも、履歴書には「高校卒業」と記載することができます。ニュージーランドの高校では、「**Leaving Certificate**」という在籍証明書が発行されます。この証明書は、日本における卒業証書または修了証に相当します。

A：計画を立てる

③サンプルプラン — 中学卒業後に留学開始



2年目

Term1からYear12に在籍
NCEA Level2を受験

3年目

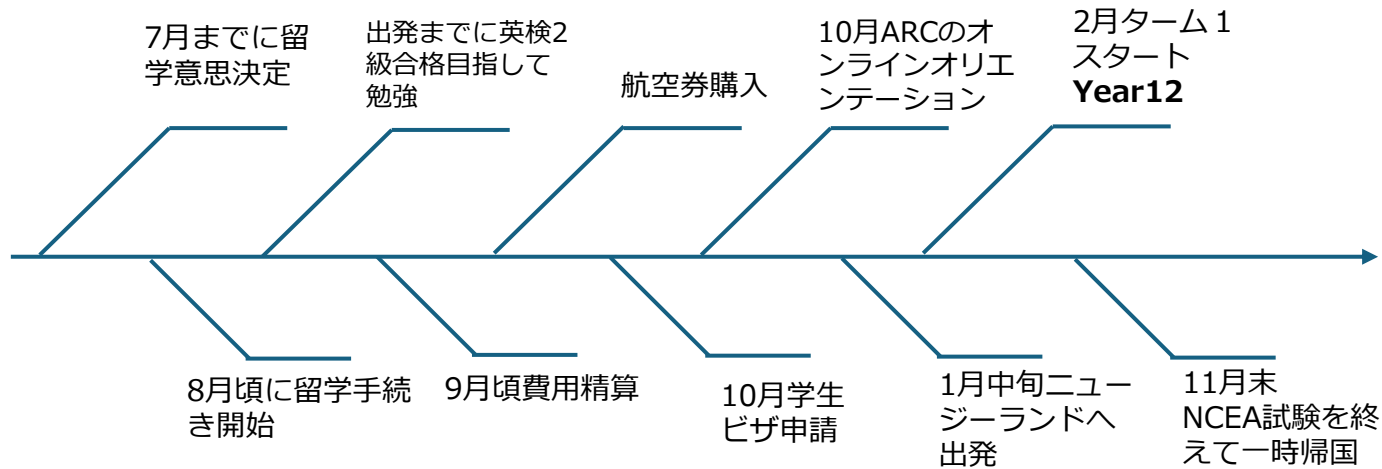
Term1からYear13に在籍
9月 帰国子女枠で入試
11月 NCEA Level3を受験後、帰国

翌年4月 日本の大学に入学

※3学期を出席しなくても卒業を認める中学校が多いので、お子様の通う学校にご確認ください。

A：計画を立てる

③サンプルプラン — 高校2年生から留学開始



2年目

Term1からYear13に在籍

9月 帰国子女枠で入試

11月 NCEA Level3を受験後、帰国

翌年4月 日本の大学に入学

※3学期を出席しなくても卒業を認める中学校が多いので、お子様の通う学校にご確認ください。

※英語力などを考慮し、学年を1つ落として、Year11（高1）から始める方も多くいらっしゃいます。

A：計画を立てる

④学校の選び方

ARCが所在するオークランドは、ニュージーランドで最も人口が多く、教育水準の高い都市です。公立・私立、女子校・男子校・共学、都市部・郊外、スポーツが盛んな学校、理系に強い学校、留学生サポートが手厚い学校、進学率が高い学校など、さまざまな選択肢があります。**卒業後に日本の大学進学を考えている方には、オークランドがお勧めです。**日本人高校生向けの塾（英語、一般教科、帰国子女入試対策）や家庭教師など、学校外での教育サービスを利用することも大きな特長です。

一方で、**1ターム～1年留学など期間限定の滞在を希望される方には、自然が豊かでアウトドアを楽しめる地方都市の学校がお勧めです。**

高校を選ぶ際には、お子様の性格や希望する学校のイメージなど、具体的なご要望をぜひカウンセラーにご相談ください。

ARCは全国約90の高校を取り扱っています。



A：計画を立てる

④入学可否について

一般的な公立高校の場合、入学試験はありませんが、各学校に以下の書類を提出し、審査を受ける必要があります。成績以外に現地高校がチェックしているのが、出席率や先生からの評価です。学校によっては、英語試験やオンラインインタビューを求められる場合もあります

■入学可否確認に必要な書類

- ①直前まで在籍していた学校の英文成績表
- ②直前まで在籍していた学校の出席証明書
- ③学校長または担任の先生の英文推薦状
- ④本人による志望動機をまとめたレター

学校を選ぶ際に大切なのは、生徒の学習レベルや学びたい分野が、現地校の教育水準や特色に適しているかどうかです。学校選びに迷われた際は、ぜひ経験豊富なARCスタッフにご相談ください。

B：勉強について

①留学前の準備

現在の在籍学年レベルの勉強に付いていけるように、日本でしっかり学習を積み重ねておきましょう。在籍学年レベルの勉強が身に付いていれば、100%英語の授業でも、授業内容に溶け込みやすくなるはずです。

またニュージーランドでは、日本のような暗記式ではなく、自分の考え・意見を記述するタイプの課題が多く出されるので、英語のレポート構成の練習や、常に問題意識を持って勉強する習慣を意識しておくといいでしょう。

またパソコンを使った授業も多く、提出物、プレゼンテーションもあるので、ワード、エクセルに加えて、パワーポイントなど基本的動作を知っておくと役に立ちます。

②英語について

現地学生の授業について行くのに必要な英語レベルは、**英検2級程度**とされています。しかし、ほとんどの現地校には、**留学生向けの英語のクラス（ESOL）**が用意されていますので、あまり英語のことを心配しすぎる必要はありませんが、クラスで学ぶのは、英検準2級レベルから準1級レベルです。学力レベルの高い一部の学校では、授業に付いていくための英語力がないと判断された場合、学校が指定した期間、高校の授業の一環として、提携の語学学校に通うケースもあります。

留学が決まったら、出発までに**英検2級合格**を目指して勉強を続けることをお勧めします。また、授業やテストで求められる**読解力や作文力**を向上させるために、個別指導を受けておくことも、留学開始時の大きな強みになるでしょう。

B：勉強について

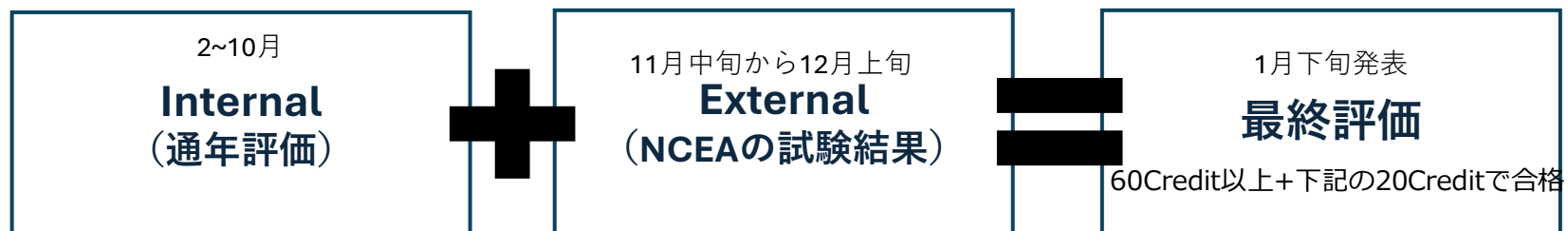
④NCEAについて

一般的な公立高校のYear11～13の生徒は、ニュージーランド教育省の定めたNCEAのカリキュラムを学びます。

NCEAはニュージーランドの高校で採用されている全国的な資格制度です。学生は学年を通してさまざまな課題に取り組み、評価を受けます。しかし、**NCEAの合格が卒業資格というわけではありません。**

ニュージーランドのNCEA制度において、NCEA Level 2に合格すると、国立専門大学（ポリテクニク）への進学資格が得られ、NCEA Level 3に合格すると、国立大学への願書提出が可能になります。しかし、覚えておきたいのは、NCEAに合格しなくても高校を卒業することができるという点です。

これまでの日本からの留学生の中には、NCEA Level 3に必要な単位を取得できなかった学生でも、帰国生入試を利用して、有名私立大学に進学した事例が多数あります。つまり、NCEAの合格に直接依存せず、帰国後の入試で進学チャンスが開けていることもあります。



上記に加えて、以下のテスト合格も必須となります。

- Literacy: 読解力または基礎的な読書・書き能力 10Credit
- Numeracy: 数的リテラシーまたは基礎的な算数・数学能力 10credit

C：生活について

①ARCのサポート

ARCでは、**留学生一人ひとりに専任のガーディアン**を配置し、**24/7**でニュージーランドでの留学生生活を徹底サポートします。私たちのガーディアンスタッフは、ニュージーランドで長年生活しており、現地の教育システムや文化に精通しています。さらに、現地校に在籍中または卒業した子供を持つ保護者でもあります。

このため、保護者目線での細やかなサポートが可能です。長年の生活経験と留学生カウンセリング歴を活かし、学業や日常生活の両面でしっかりとサポートします。

また、毎月お送りするレポートは、「子供の様子がよく分かる」と保護者様から高く評価されています。お子様の学習状況や生活の様子を詳しくお伝えし、安心して留学生活を見守るお手伝いをいたします。



- ❖ ARCのガーディアンは、全員がニュージーランド滞在歴の長い永住スタッフです。保護者の目線で、ニュージーランドでの生活経験を生かして、お子様のケアを担当します。
- ❖ ガーディアンは生活での悩み事、勉強の問題点など、様々な事柄に対応します。
- ❖ 料金はお問合せください。

C：生活について

②交友関係

ニュージーランド留学中は様々な場面で新しい出会いがあります。

異なる文化、異なる価値観の人たちとの出会いを通じて、人間的にも大きな成長できる機会です。

恥ずかしがらずに積極的に出会いの扉を開いていくことをお勧めします。



C：生活について

②お小遣いの目安

ニュージーランドでは物価高の影響が特に飲食費に顕著であり、**外食や食品の購入にかかる費用は日本のほぼ倍程度**と考えておくのが賢明です。

ARCで担当する学生の平均的なお小遣いは、**1か月300ドルから400ドル**。

スマホデータ	約30ドル～	オンライン家庭教師	1時間50ドル～
ビッグマックセット	約17ドル	学校のユニフォーム一式	約400ドル～
ラーメン	約\$24ドル	バス代1か月	約100ドル～
スタバ・キャラメルフラ ペチーノ	約7ドル	学食での飲食	約7.00～
コーラ 500ml	約4ドル	課外授業	約80ドル～
レストランでのメインメ ニュー	約40ドル/皿	NCEA登録料	383ドル

NZ\$は値動きのある通貨のため、1ドル90円～100円計算で見積もるといいでしょう。

D：進路について

日本人留学生の**約9割が帰国生入試を利用して日本の大学**に進学します。一方、ニュージーランドなどの海外大学を目指す学生は、理系や音楽など、学びたい分野が明確な場合が多いです。

日本での進学

帰国生入試には、一般入試、帰国生特別入試、IB入試、AO入試、指定校推薦、英語学位プログラム入試などがあります。

大学によって受験要項が異なるため、早めに綿密な準備が不可欠です。

海外での進学

ニュージーランドなどの海外大学進学には、NCEA Level 3に合格し、さらに大学入試に必要な単位を取得することが必須です。Year 12終了時の成績により、海外大学進学の可能性を探ることができます。課題提出を含め、単位認定に関わる試験をクリアすることが大切です。

D：進路について

②ARCで担当した留学生たちの進路実績の一例

日本国内

ICU国際基督教大学：教養学部

上智大学：英文学科、ポルトガル語学科、新聞学科、看護学科、理工学部

早稲田大学：基幹理工学部、人間科学部

その他私立大学：学習院大学、青山学院大学、中央大学、明治大学、駒沢大学、東京農大、武蔵野芸術大学、大阪芸術大学、関西学院大学、関西大学、立命館、APUなど。

国公立大学：九州大学、横浜市大、北九州市大など

海外

ニュージーランド：オークランド大学（文学部、音楽部、理学部、ビジネス学部）

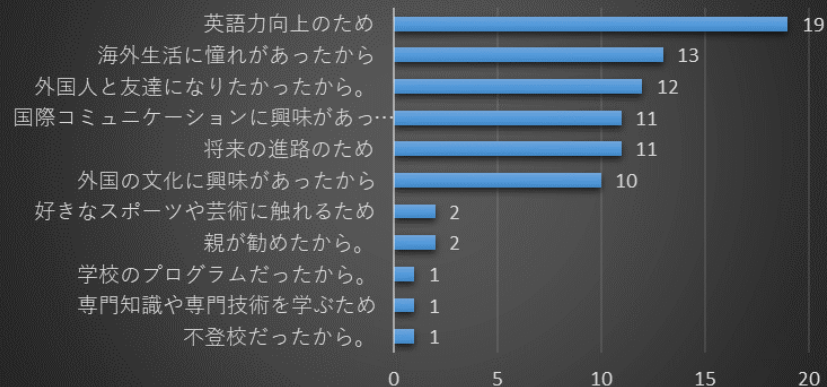
オークランド工科大学、マッセイ大学、オタゴ大学

オーストラリア：メルボルン大学、ニューサウスウェールズ大学他

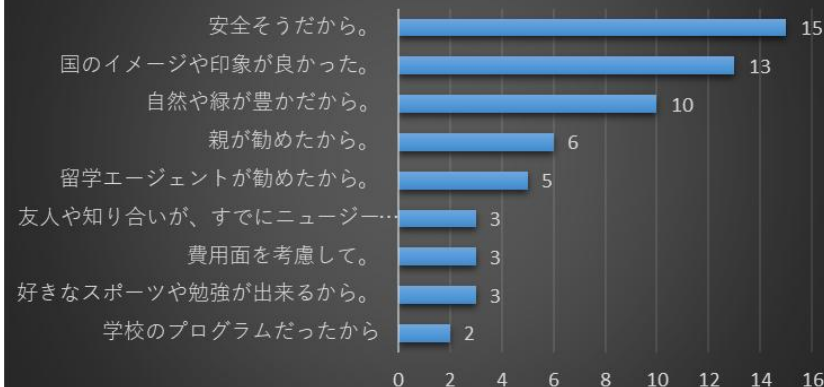
その他参考資料

①留学生たちへのアンケート調査 その1

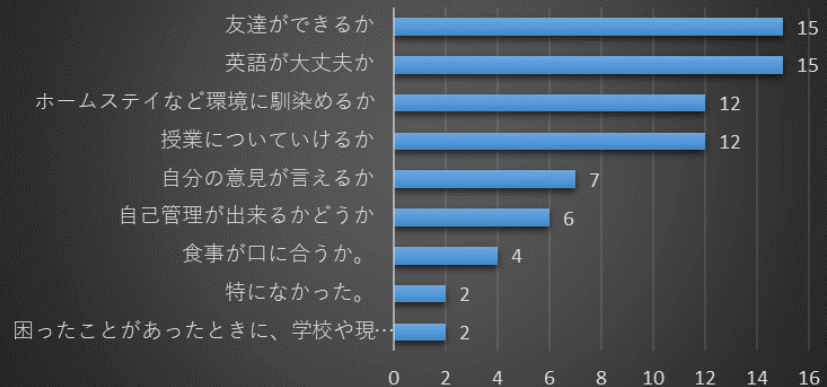
留学した理由は？



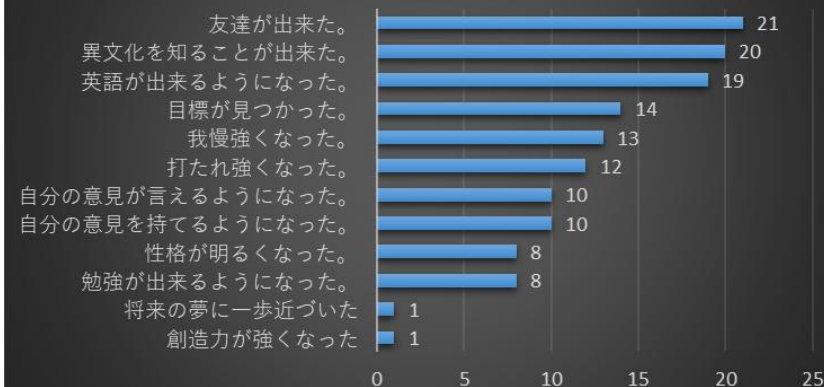
ニュージーランドを選んだ理由は？



留学前の心配事



留学してよかったことは？



その他参考資料

①留学生たちへのアンケート調査 その2

留学を始める前に、少しでもやっておいたほうがいい事って何だと思いますか？ 留学中の学生たちに聞いてみたところ、以下の回答がありました。

英語を勉強しておこう！

- 少しの英語の勉強と気合いが大切。
- Be prepared to be able to introduce your country in English.
- ほんまにちょっとだけでもいいから英語の勉強をしといたほうがいいです。
- 日常会話を少し話せるくらいだったらいいと思う。ホストとの距離を縮めたら留学生活もっと楽しくなると思う。
- 多少の英語力。将来にどう繋がるかを考える。
- 英語の勉強だ。
- Be themselves!
- 自分が思っているよりも思っていることを言うことが大切。自分にとって自信がなくても笑顔！！
- Have common sense.
- 留学先のリサーチ
- 英語はきちんと勉強していった方がいいと思います！他の国から来る留学生は英語はほぼ話せて、英語を話せないと遅れをとるし、留学生の輪にも入り難いので、留学する前に英語の勉強を頑張ったら留学生活が充実すると思います♪
- 日本人にある謙虚さを少し忘れ、ホストファミリーや先生に何でも頼る気持ち
- 準備しておくというより、それなりの覚悟を持ってくるべきだと思う
- 気合いと根性
- 普段から意見を持つこと。恥ずかしがらずに誰かに話しかけられる勇気を持つこと。
- 絶対に現地に行って達成させたい目標ややりたいことをリストにしておくこと。
- 日本の人口や流行りなどなるべく日本のことを相手に紹介できるぐらいの知識は身につけておくこと。
- 目標を持つこと。

Q&A

よく頂くご質問をまとめました。

1. 学校選びについて

Q：どの学校が子どもに合っていますか？

A: 学力・進学目標（大学進学サポートやカリキュラム）得意分野や興味（スポーツ・芸術・科学などの特色）規模と環境（大規模校の充実した施設、小規模校の個別対応）留学生サポート（英語補習や日本語対応の有無）立地・生活環境（都市部の利便性、地方の落ち着いた環境）これらのポイントを考慮してください。しかし、数ある学校の中から選択するのはとても大変ですので、信頼できるエージェントに相談して学校選択をすることをお勧めします。

Q：公立と私立の違いは何ですか？

A：ニュージーランドの高校は学区制があり、公立校は基本的に指定された地域の生徒が通います。私立校は全体の数パーセントで、一部の富裕層向けの学校が多いです。日本人留学生のほとんどは、公立校または政府補助を受けた**インテグレートッド・スクール（Integrated School）**に通います。インテグレートッド校は私立から公立に移行した学校で、独自の教育方針を持ちながらも学費は公立より少し高めです。

2. 生活面について

Q：ホームステイと寮、どちらが良いですか？

A：それぞれに特徴があり、お子さまの性格や目的に合わせて選ぶのが理想です。

ホームステイ（日本人留学生の約9割が選択）：

現地の家庭で生活し、英語や文化を自然に学べます。家庭のルールがあり、安心感のある環境で生活リズムを整えやすいのが特徴です。

寮（主に地方都市の男子校・女子校）

学校の敷地内や近くにあり、友人と過ごす時間が長くなります。規律があり、集団生活が得意な方に向いています。寮の部屋は相部屋が多く、プライベート空間が限られるため、協調性が求められます。

Q&A

よく頂くご質問をまとめました。

Q：ホームステイ先の家族はどのように決まりますか？

A：留学生の趣味や希望をもとに、学校が手配します。ホストファミリーは、ニュージーランド政府の定める服務規程にのっとり、適性審査や自宅訪問を経て選定されています。安心して生活できる環境が整えられています。

3. サポート体制について

Q：学校には日本語が話せるスタッフがいますか？

A：留学課（International Office）のスタッフが留学生対応を担当します。学校によっては、日本人スタッフが事務（アドミン）として働いていることもあります。直接生徒のケアに関わることは少なく、基本的には留学課のスタッフが対応します。

Q：なにかあった時のためにも留学エージェントは利用したほうがいいですか？

A. はい、留学エージェントを利用することで、万が一のトラブルにも迅速に対応できます。現地での緊急事態や問題が発生した場合、エージェントは保護者や学校と連携して、解決に向けてサポートを提供します。また、言語や文化の違いで困ったときにも、エージェントがサポートに入ることで安心感が増します。何かあった時のためにも、信頼できるエージェントを利用することをおすすめします。

4. 英語力

Q：どれくらいの英語力が必要ですか？英語ができない場合、授業についていけますか？留学前にどんな準備をすればよいですか？

A：授業についていくための英語レベルは、一般的に英検2級レベルが求められます。英語ができない場合でも、学校には**ESOL（English for Speakers of Other Languages）**という留学生向けの英語授業があり、準2級レベルを基準にしています。

留学前に準備すべきことは、英語力を高めることです。英検2級合格を目指して勉強することは、モチベーションアップにも繋がります。出発前に英語力を伸ばしておくことで、現地での生活や授業がよりスムーズになります。

ニュージーランド高校留学のご相談は、20年の実績と信頼を誇るARCにお任せください。



メールでのお問合せ

toshi@arcnz.co.nz（小西利幸）

ウェブサイトからのお問合せ

[こちら](#)

オンラインでのご相談

[こちら](#)

